

平成28年度 奈良県立教育研究所

教育セミナー2016

(御案内)

ともに学ぶ!

～「自ら学び、ともに学ぶ」

アクティブ・ラーニング～



日時 平成28年5月31日(火)

13:00～16:00(受付12:30～)

場所 奈良県立教育研究所

対象 教育関係者及び教育に関心のある方

日程

12:30	13:00	13:10	14:20	14:30	15:10	15:20	16:00	16:45
受付	開会式	全体会	移動・休憩	研究発表1	移動・休憩	研究発表2	館内開放	
パネル展示・教材展示(研究成果及び各種紹介パネル、ICT機器、実験器具、新教材等)								

受付 12:30~
開会式・全体会 13:00~14:20

教材体験
新しい教材やICT機器、デジタル教材など、実際に触れながら体感できます。
16時45分頃まで

全体会

① 基調講演

アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善
国立教育政策研究所 後藤 顕一 氏



教育セミナー 2016
「自ら学び、ともに学ぶ」
アクティブ・ラーニング
発表内容一覧

研究発表1 (14:30~15:10)

長期研修員報告	② 教育相談	小学生の未熟な対人関係から生じる問題を予防するためのプログラムの研究 —良好な人間関係の形成を目指して—
	③ 教科教育	英文の大意を把握することを目指したリーディング指導の一考察 —トップダウン処理を促すワークシートの開発—
指定研究	④ 個人研究 学校事務	財務事務を通して行う組織マネジメントモデルの提案 —エコを視野に入れた教育環境整備の実践から—
	⑤ 個人研究 教科教育	キャリア教育の視点を取り入れた教科指導 [社会、地理歴史、公民]
実践報告	⑥ 道徳教育	豊かな人間性を培い たくましく生きる力を育てる道徳教育

研究発表2 (15:20~16:00)

長期研修員報告	⑮ 教科教育	高等学校理科(化学基礎・化学)におけるアクティブ・ラーニングの充実 —主体的・協働的に学ぶ生徒を育てるための授業の提案—
	⑯ 教科教育	企業体験研修を生かしたNC工作機械の実習テキストの作成
指定研究	⑰ 個人研究 校内研修	若手教員の成長支援に向けた取組 —採用2年目及び担任2年目教員を対象としたOJT—
	⑱ 実践報告	奈良教育大学との連携による 小学校若手教員育成研修システム開発

発表主題 内容紹介

企画	⑦ ※基本的に前半後半通しての参加をお願いします。	アクティブ・ラーニングの視点に立った深い学び、対話的な学び、主体的な学びを実現する授業について、活動、体験を通して学んでみませんか。児童、生徒に求められる資質・能力を育てるために、どのような授業づくりが大切か、ともに学びましょう。
----	---------------------------	---

指定研究	前半⑧	後半⑭	
	プロジェクト1 幼児教育	小学校への接続を意識した幼児期における学びの基盤の育成 —幼児期で育成したい「学びに向かう力」—	小学校以降の学力形成につながる「意欲」や「集中力」等の「学びに向かう力」を、日々の保育にどのように位置付けて幼児の中に育てていけばよいかを研究しました。「夢中度・安心度」や「友達関係」を5段階の指標を基に数値化し、幼児の遊びの様子が一目で分かるように記録を工夫しました。
	前半⑨	後半⑮	
	プロジェクト2 言語活動の充実Ⅰ	学びを楽しみ学びをつなぐ国語の授業づくり	国語に対する興味・関心や学習意欲を高めるために、「伝統的な言語文化に関する教材の素材研究」と「児童の主体的な思考・判断が生かされる言語活動の工夫」を柱とした授業づくりについて研究しました。具体的な実践内容や研究成果の報告を基に、これからの国語科の学びについて参加者と共に考えます。
	前半⑩	後半⑯	
	プロジェクト2 言語活動の充実Ⅱ	主体的な学びを高める外国語活動の授業づくり —自己評価の工夫—	児童が自らの言語活動を評価することによって、外国語を学ぶ意欲が高められる授業づくりについて研究しました。目標を明確に認識することで見通しをもって学習活動を行い、振り返りシートを用いた評価により、自らの変容を客観視できるようにすることが、主体的に学習に取り組む態度につながるということが分かりました。
前半⑪	後半⑰		
プロジェクト3 理数教育	実感を伴った理解を深める観察・実験の教材・教具づくり	理科に対する有用性を感じさせ、実感を伴った理解を深めるために、小学校5・6年生の理科に関して10の実践を行いました。その成果について報告し、実感を伴った理解を深められる教材・教具について、参加者と共に考えます。	
前半⑫	後半⑱		
プロジェクト4 ICT活用	へき地教育におけるICTの活用の在り方	少人数・小規模のよさを生かしてICTを活用する授業の在り方について研究を行いました。実践記録の分析の結果、少人数・小規模のよさを生かし、ICTを活用することは、児童生徒の学び意欲の向上や指導する教員の授業改善に効果があることが分かりました。	
前半⑬	後半⑲		
プロジェクト5 教育相談	小学校における教育相談体制づくり —セカンドステージ/モデル開発—	不登校やいじめ等、多様化する生徒指導上の諸問題に適切に対応するためには、学校教育相談体制の整備が不可欠です。平成26・27年度の2年間、小学校における教育相談体制の在り方を研究しました。研究1年目は体制づくりを進める上での課題を抽出し、課題解決に向けた具体的方策を示しました。2年目はその方策に基づいて様々な取組を進め、教育相談体制構築に向けた有効なモデルを提案しました。	
前半⑭	後半⑳		
プロジェクト6 特別支援教育	ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり —継続的・発展的な普及を目指して—	ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、児童生徒が「できた」「分かった」と感じることができる授業づくりに関する研究を、小学校2校、中学校1校で行いました。「ユニバーサルデザインの視点とは」「授業に取り入れる際の留意点とは」及び「継続的・発展的な普及につなげるための視点とは」について報告します。	

館内開放
~16:45頃まで

“未来の先生”のコーナー

教員になることを志望する学生が、アクティブ・ラーニングの充実を目指した授業づくりについて提案します。



パネル等の展示

教育研究所の研究成果や奈良県教育委員会各課・室の取組をまとめたパネル等を展示しています。

参加申込みの際には、①~⑳のうち希望される番号を、別添の参加申込書に御記入ください。
※全体会・前半・後半のみの参加も可能です。

申込方法

別添の参加申込書に必要事項を記入の上、郵送又はFAXで申し込んでください。
(部分的な参加も可能です。)

申込先

奈良県立教育研究所 “教育セミナー2016”係

郵送：〒636-0343
奈良県磯城郡田原本町
秦庄22-1

FAX：0744-33-8909

会場への案内



近鉄橿原線 笠縫駅から南西へ約0.6km



参加の申込みについて

- ・日程、内容等に変更があった場合は、奈良県立教育研究所のWebページにてお知らせします。
- ・当日、気象警報が発令された際は、中止とさせていただきます場合がありますので、参加の前には御確認ください。

↓
奈良県立教育研究所のWebページ
<http://www.nps.ed.jp/nara-c/>

申込み締切

平成28年5月20日(金)

問合せ先



奈良県立教育研究所 教科教育係
TEL：0744-33-8903

